

Q

地域計画（農業の将来の在り方）策定の結果は

A

結果や計画は市の窓口やホームページで確認できる



はち す よし のり
八 須 由 憲



映像は
こちらから

アンケート調査による将来10年後の耕作の意向割合は。

規模拡大が3%、現状維持が50%、規模縮小が10%、農業をやめたいとの回答が23%であった。

地域ごとの農業課題は何があるのか。

すべての地区で農業者の高齢化、担い手や後継者不足、耕作放棄地の増加が課題となっている。

市民の方が農地情報を知り得る方法は有るのか。

農地利用に関する意向を色分けした「目標地図」を市の窓口やホームページで公表している。この他に、農地台帳（農業委員会や農林水産省が運営する「eMAFF（イーマフ）農地ナビ」で農地の地番、面積、賃借情報などが確認できる。

農地の貸し借りに、農地中間管理機構の活用を推進すべきである

思うが。

本年4月より、農地中間管理機構が間に入る「農地中間管理事業」による制度変更になった。農地の集積・集約化を推進し、農地利用の効率化および高度化を図る為に、制度活用についての周知を行っている。

「あかね通り」の整備について

雑草の繁茂、木製ベンチの老朽化、案内板、凸凹の路面等、整備をする予定は有るのか。

年2回の除草を行っている。路面の凸凹や木製ベンチは、損傷状況把握して対応していく。



農地中間管理機構

Q

深谷産特別栽培米を学校給食で使う考えはないか

A

現在、関係部署と連携を図りながら導入を進めている



こ いずみ まこと
小 泉 誠



映像は
こちらから

深谷市の特別栽培米の収穫量を伺う。

昨年は13t、今年は学校給食での利用も踏まえ、25tの生産に取り組んでいる。

学校給食の食材の、地場産物及び国産食材の使用割合を伺う。

深谷市産食材約20%、国産食材約88%である。

外国産食材の具体的な食材は。

パンや中華麺の小麦粉だが、埼玉県の学校給食会は、令和9年度に向けて、県産、国産小麦に切り替えることを計画している。

わんぱくランドの存続は

わんぱくランド存続を望む多くの市民の声にどう応えるのか。

次の世代に負担を継承しないための取組であることをご理解いただきたい。



川本田園風景

わんぱくランド廃止について市民の合意は得られているのか。

廃止が決まったら、周知をしてご理解をしていただく。

わんぱくランド廃止後の跡地利用について伺う。

ビックタートルや陸上競技場のリニューアルをはじめ、全世代型の運動公園を目指す、具体的には今後検討していく。

市民が利用中の公共施設の廃止は、十分な時間を取って、周知・説明するべきではないか。

これまでと同様、状況に応じた対応を基本とするが、ご指摘の点も踏まえ、より慎重に丁寧に対応する。

Q

農業課題解決の進捗状況について

A

全市域の地域計画を策定したところである



ゆ もと あき
湯 本 昭



映像は
こちらから

3月にまとめた「地域計画」の内容と現状は。

市内を25の地域に分けて協議の場を設け、その結果を踏まえ地域農業の将来の在り方、地域の主要作物、農業の担い手、目標地図などが盛り込まれた計画を策定したところである。

計画の推進についての予定は。

今後10年後を見据えて、5年ごとの見直しを計画し、農振除外の手続きや目標地図に位置づけられていない農用地の権利移転に伴う変更などを考慮し、毎年2回の計画変更を想定している。今年度は9月と3月に計画変更を予定している。

農地の貸し手と借り手のマッチングの推進状況は。

「地域計画」が令和7年3月25日に策定されたところであり、まだ具体的な進展はない状況である。



農地中間管理事業による農地の貸し借りを推進しており、これが進展することにより情報が整理され、地域計画の更新も進んでいくと考えている。併せて地域の耕作者に参加していただきマッチングを行うっていくことを検討している。

「援農ボランティア制度」の活用について。

花園農協で実施している「援農ボランティア制度」の取組を注視し、ふかや農協、埼玉岡部農協を含めた連携に努め、ボランティアなどの外部人材の活用について調査研究をしていく予定である。

Q

深谷産特別栽培米を学校給食で使う考えはないか

A

現在、関係部署と連携を図りながら導入を進めている



こ いずみ まこと
小 泉 誠



映像は
こちらから

深谷市の特別栽培米の収穫量を伺う。

昨年は13t、今年は学校給食での利用も踏まえ、25tの生産に取り組んでいる。

学校給食の食材の、地場産物及び国産食材の使用割合を伺う。

深谷市産食材約20%、国産食材約88%である。

外国産食材の具体的な食材は。

パンや中華麺の小麦粉だが、埼玉県の学校給食会は、令和9年度に向けて、県産、国産小麦に切り替えることを計画している。

わんぱくランドの存続は

わんぱくランド存続を望む多くの市民の声にどう応えるのか。

次の世代に負担を継承しないための取組であることをご理解いただきたい。



川本田園風景

わんぱくランド廃止について市民の合意は得られているのか。

廃止が決まったら、周知をしてご理解をしていただく。

わんぱくランド廃止後の跡地利用について伺う。

ビックタートルや陸上競技場のリニューアルをはじめ、全世代型の運動公園を目指す、具体的には今後検討していく。

市民が利用中の公共施設の廃止は、十分な時間を取って、周知・説明するべきではないか。

これまでと同様、状況に応じた対応を基本とするが、ご指摘の点も踏まえ、より慎重に丁寧に対応する。

Q

岡部駅橋上駅舎化事業について今年度の取組を伺う

A

市民のニーズを把握するため、アンケートを実施する



つ だ よし のり
角 田 義 徳



映像は
こちらから

アンケートは誰を対象に、どのように実施するのか。また、その時期はいつになるのか伺う。

対象は、岡部地区在住者から無作為抽出及び、岡部駅利用者を選定。実施方法は、郵送、またはWebでの回答による。時期については本年11月以降を予定する。

榛の森公園駐車場の収容能力が不足している。公園西側入口付近の土地を市が買い取り、駐車場として整備する考えはないか。

新たに土地を取得し、駐車場を整備する考えはないが、河津校やソメイヨシノの開花時期に、改めて状況確認する。

●ピクニックプライドの醸成について

桃太郎電鉄の次期作に、本市特産のブロックコーを入れてもらえる



「駅舎の橋上化」が明記されている碑